

## ■出演者プロフィール



©K.Miura

指揮: **梅田俊明** Toshiaki Umeda, *Conductor*

1984年桐朋学園大学音楽学部卒業。1986年同研究科修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。1983、84年にはジャン・フルネ氏にも学ぶ。1986年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー、仙台フィル、神奈川フィルの指揮者を歴任。NHK響、読売日響、東京都響、東響、日本フィル、新日本フィルを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2000年より仙台フィル常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。2006年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に演奏及び指揮指導で参加し、注目を集めた。1996年には南西ドイツ・フィル、スロヴァキア・フィルの定期演奏会にも出演しいずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼が厚い。桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師。

ギター: **村治佳織** Kaori Muraji, *Guitar*

幼少の頃より数々のコンクールで優勝し、ピクチャーより15歳でCDデビュー。1996年、イタリア国立放送交響楽団と共演。フランス留学から帰国後、ソロ活動のほか、国内及び欧州のオーケストラと多数共演。2003年英国の名門クラシックレーベルDECCAと日本人初の長期専属契約を結ぶ。第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテルオークラ音楽賞を受賞。テレビやラジオ番組にも多数出演し、2017年4月からはJ-WAVE「RINREI CLASSY LIVING」のナビゲーターを担当している。2018年リリースの『シネマ』で第33回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤー受賞。2019年には、アランフェス協奏曲連続4公演、横浜開港記念式典記念コンサート出演、サントリーホール・大ホールでのソロリサイタルなどを成功させた。ベストドレッサー賞(学術・文化部門 2017年)、ブルガリ アウローラ アワード2019受賞。

村治佳織OFFICIAL HP <http://www.officemuraji.com>

## ■オーケストラ・プロフィール

## 日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

【創設】	1956年6月創立。 楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務めた。
【指揮者】	ピエタリ・インキネン(首席指揮者)、アレクサンドル・ラザレフ(桂冠指揮者兼芸術顧問)、小林研一郎(桂冠名誉指揮者)、山田和樹(正指揮者)、ネーメ・ヤルヴィ(客員首席指揮者)、ジェームズ・ロッホラン、ルカーチ・エルヴィン(以上、名誉指揮者)、渡邊暁雄(創立指揮者)
【楽団員数】	83名
【ホーム・コンサート・ホール】	サントリーホール、杉並公会堂、横浜みなとみらいホール、東京芸術劇場、ソニックシティ、相模原女子大学グリーンホール
【楽団ウェブサイト】	<a href="https://www.japanphil.or.jp/">https://www.japanphil.or.jp/</a>

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



創立指揮者 渡邊暁雄

 <b>●感動をもう一度！アーカイブ配信で</b> 本日の演奏をお楽しみいただけます。 <b>1公演 1,000円</b> 配信期間:公演翌日12:00~8/31(月)23:59 <a href="https://tiget.net/tours/summermuza2020/">https://tiget.net/tours/summermuza2020/</a>	<b>●アンコール曲 ●ほほ日刊サマーミュージック ONLINE!</b> <b>●アンケート ●パートナーショップ特典</b> <b>はこちらの特設サイトより</b>  <a href="https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/">https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/</a>
---	---

<b>ミュウザ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー</b> ミュウザ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。					
<b>【法人】</b> 特別賛助会員 NTTアドバンステクノロジー株式会社 川崎幸病院 川崎信用金庫 川崎フロンターレ キヤノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 大本山川崎大師平間寺 三井不動産グループ 株式会社ヨドバシカメラ  <b>【賛助会員】</b> 税理士法人あおぞら会計 味の素株式会社 川崎事業所 アルファクス株式会社 株式会社イープラス ENEOS株式会社	有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 株式会社きんでん 株式会社ケイエスピー ケイジーケイ株式会社 京浜楽器株式会社 株式会社さいか屋 川崎店 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ	セレサ川崎農業協同組合 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シイ 東亜石油株式会社 株式会社 東芝 東洋ロザイ株式会社 日本窯炉株式会社 びあ株式会社 富士電機株式会社 ホトルメトロポリタン川崎 株式会社ムーブエイト ヤマハサウンドシステム株式会社  * 大宮町町内会 共奏・ドリームフィルハーモニーオーケストラ 遊園電子工房	<b>【個人】</b> 阿部 孝夫 磯野 和久 市橋信一郎 井上 敏昭 遠藤 智和 大木志乃生 大越麻美子 大塚 具幸 小笠原 将 岡野 功 小野 洋彰 金山 直樹 喜多 絢一 久住 映子 小宮みつほ 後藤 実 小林 知子	齊藤 隆徳 佐藤 亨 佐藤 晴茂 鈴木 徹 関口 浩・三代子 高橋 美子 竹内 啓介 都築 豊 中村紀美子 西山 英昭 橋本系子 長谷川喜代江 林 直人 平野 信子 廣瀬 治昇 前田 泉 松本 武巳 山内 利夫	山下 啓史 山田 昌克 N. A. 他器名6名 他器名6名 他1法人 敬称略五十音順

(2020年7月1日現在)

## フェスタサマーミュージック

## KAWASAKI 2020

ミュウザ川崎シンフォニーホール

サマーミュージックは全公演ライブ配信を実施しております。客席内と舞台上に映像収録カメラが入りますので、予めご了承ください。

## 日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra

ベートーヴェン生誕250年 祝!生誕90年の武満 徹&amp;生誕250年のベートーヴェン

8/8<sup>±</sup>

## ● プレトーク

14:20~14:40

話=梅田俊明  
村治佳織  
江原陽子(司会)

※本公演と同じお席でお楽しみください。

## ● 開演

15:00

## ● 終演予定

17:00

## 曲目

レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲 P. 172 (18分)

Respighi: Antiche danze ed arie per liuto (Ancient Airs and Dances), suite No. 3, P. 172

I. イタリアーナ III. シチリアーナ  
II. 宮廷のアリア IV. パッサカリア

武満 徹:虹へ向かって、パルマ\* (12分)

Toru Takemitsu: Vers, l'arc-en-ciel, Palma

—休憩(20分)—

ベートーヴェン:交響曲第1番 ハ長調 作品21 (30分)

Beethoven: Symphony No. 1 in C major, Op. 21

第1楽章 アダージョ・モルトーアレグロ・コン・ブリオ  
第2楽章 アンダンテ・カンタービレ・コン・モート  
第3楽章 メヌエット:アレグロ・モルト・エ・ヴィヴァーチェ  
第4楽章 フィナーレ:アダージョーアレグロ・モルト・エ・ヴィヴァーチェ

※演奏時間は目安です。

## 出演

指揮: **梅田俊明**ギター: **村治佳織\***オーボエ・ダモール: **松岡裕雅(オーボエ副首席奏者)\***コンサートマスター: **千葉清加(アシスタント・コンサートマスター)**

※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

## △新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、ご協力をお願いいたします。

## 【お客様へのお願い】

※マスク着用、手指消毒にご協力ください。  
※終演後は、スタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いている扉から混雑を避けてお帰り下さい。  
※出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。  
※万一、クラスター(感染集団)の発生が明らかになった際、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

## 【館内設備について】

※クローク、ドリンクコーナー、ショップの営業はございません。  
※冷水器の使用は停止しております。  
※換気のため、通常よりも空調を強めにしております。また、隣席を空けているため、普段よりも寒く感じる場合がございます。(ブランケットの貸し出しは中止しております)  
※アンコール曲は公演後、当ホールホームページに掲載いたします。

## ご登録をお願いします

神奈川県 LINE コロナお知らせシステム

会場内に掲示しているQRコードを読み取ってください。新型コロナウイルスに感染された方が発生した際、保健所の調査に必要と判断された場合にLINEメッセージが届きます。

※来場日ごとに、QRコードの読み取りをお願いします。

## ホール内は小さな音でもよく響きますので、ご協力をお願いいたします

- 演奏中の入退場はご遠慮ください。
  - 全席指定の公演です。ご自分のお席でお聴きください。
  - ホール内客席では携帯電話、スマートフォンなど全ての電子機器の電源をお切りください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。
  - 時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。
  - 許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
  - 鈴のついたアクセサリー、お荷物などは演奏中に音が出ないように、十分ご注意ください。また、アメの包み紙を開ける音にもご注意ください。
  - ホール内での飲食はご遠慮ください。
- ※曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから、拍手をお送りください。
- 【補聴器をお使いの皆さまへ】  
補聴器が正しく装着されていることをご確認くださいませよう、お願いいたします。

主催: 川崎市、ミュウザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)  
後援: 川崎市教育委員会、公益社団法人日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA  
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会  
映像・音響制作: YouClassics  
協力: 株式会社東京MDE、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社



# 色彩豊かな20世紀管弦楽の魔術の東西

## ベートーヴェンの原点と、

文 宮本明

### ●ルネサンスのリュート曲をモダンに蘇生

#### レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲

「ローマ三部作」で有名なオットリーノ・レスピーギ(1879~1936)の特長は、師リムスキー=コルサコフやR.シュトラウス、ドビュッシーの影響を受けた色彩的で華麗な管弦楽法。一方で彼は民族主義的な姿勢から、自国イタリアの古い音楽や民謡、教会音楽などを発掘して、さかんに創作に取り入れた。そんなレスピーギの資質が見事にひとつに結実したのが「リュートのための古風な舞曲とアリア」と名付けられた3つの組曲。16~17世紀に出版されたリュート曲を、壮大なオーケストラ編曲でモダンに蘇らせた。第1、第2組曲は管弦楽編曲、本日演奏される第3組曲のみ弦楽合奏のために書かれている。

原曲としたのは以下のとおり。

**第1曲〈イタリアーナ〉**:作曲者不詳。16世紀にドイツで出版されたリュート曲集より

**第2曲〈宮廷のアリア〉**:ブルゴーニュのリュート奏者ジャン・バティスト・ベサーール(1567頃~1625頃)の作品による

**第3曲〈シチリアーナ〉**:作曲者不詳の16世紀末の作品

**第4曲〈パッサカリア〉**:イタリアの作曲家ルドヴィコ・ロンカッリ(1654~1713)が1692年に出版した5弦のバロック・ギターのための曲集より

いずれも、弦楽だけの編曲とは思えない、変化に富んだ豊かなオーケストレーションが施されている。

### ●現代画家ミロを追悼する、静かで艶やかな武満サウンド

#### 武満 徹:虹へ向かって、パルマ

スペインのシュルレアリスムの画家ジョアン・ミロ(1893~1983)の追憶。曲名はそのミロの同名作品(1941)によるが、末尾の「パルマ」は、ミロが晩年を過ごしたマヨルカ島の中心都市パルマ・デ・マヨルカ滞在中に描かれた作品であることを示すもの。絵は現在ニューヨークのメトロポリタン美術館所蔵(非公開)。1966年に東京と京都で開催された大規模なミロ展に出品されていたので、武満 徹(1930~1996)はその時に実物を見たのかもしれない。1970年に大阪万博のために来日したミロに会った武満は、画家の質朴な、気取らない人柄に魅せられたと述べている。武満の死後、仕事部屋にのこされていた未完の作品のタイトルは「ミロの彫刻のように」だった。

調的でロマンティックな書法は、80年代の武満の後期作品に顕著な作風。導入部でフルートが、そしてすぐに減五度下でオーボエ・ダモーレが吹くモチーフが全曲を貫く主題として繰り返し現れる。曲尾近く、ギター(とクラリネット、トランペット)が歌い始める素朴なあたたかい旋律は、ミロの出身地カタルーニャの有名な民謡「紡ぎ女 La Filadora」の引用。上述の主題の、特に印象的な冒頭部分の音程関係が、この民謡の構成要素だったことがわかる。それを示すように、最後にまた独奏に主題が現れ、へ長調に収束して静かに曲を閉じる。

バーミンガム市交響楽団の委嘱で、1984年10月、サイモン・ラトル指揮、ジョン・ウィリアムズ(ギター)、ピーター・ウォルデン(オーボエ・ダモーレ)により初演。ギターを愛した武満が、ギターを独奏楽器として用いた管弦楽曲は「夢の縁へ」(1983)、「スペクトラル・カンティクル」(1995)と本作だけ。

### ●若きベートーヴェンの野心が随所に潜む意欲作

#### ベートーヴェン:交響曲第1番

1791年に21歳でウィーンに出て以来、おもにピアニストとして活躍していたルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827)が、スケッチの残る未完の交響曲の試みの末に、30歳を目前によいよ完成した最初の交響曲。1800年4月ウィーンのブルク劇場で、ベートーヴェンが初めて開催した自主演奏会において、自らの指揮で初演した。

その後のベートーヴェンを知る現代の視点から見れば、ハイドンやモーツァルトの影響の残る古典的な初期交響曲かもしれないが、当時としてはかなり野心的、意欲的。八長調の作品なのに、序奏はいきなりドミソシbという、へ長調の属七和音で始まる。いわば不協和音。いろんな調に寄り道して緊張感を高めてからようやく八長調の主部に至る。穏やかな田園風景のようなカノン風の第2楽章。第3楽章はメヌエット。交響曲第2番以降、メヌエットに代えてスケルツォ楽章を導入するベートーヴェンだが、すでにここにも典雅な宮廷舞曲のメヌエットの性格はなく、実質的に快樂のスケルツォ。そしておずおずと何かの様子をうかがうようなアダージョの序奏から一転、いきいきと一気に駆け抜ける軽やかなアレグロのフィナーレ。不滅の9曲の交響曲の始まりを鮮やかに告げる快作。

### ■ベートーヴェンに曲を捧げられたサリエリ

特別企画!  
かげはら史帆の  
ベートーヴェンコラム  
Vol. 8

『交響曲第1番』が書かれはじめた1799年。

28歳のベートーヴェンは、ウィーンの宮廷楽長にある作品を献呈しました。

宮廷楽長の名はアントニオ・サリエリ。映画『アマデウス』ではモーツァルトの才能に嫉妬の炎を燃やした凡才音楽家として描かれていますが、このキャラクター設定はあくまでもフィクション。実際は、モーツァルトをしのぐ勢いで活躍し、『ダナオスの娘たち』『タラール』などのヒット作を世に送り出したオペラの大家でした。

ウィーンの楽壇のトップに君臨するこの先生に、若いベートーヴェンが作品を献呈したのは、おそらくある種の戦略にもとづいてのことでした。当時のベートーヴェンは、ピアニストとしてはすでに有名でしたが、作曲家としてはまだ駆け出しで、交響曲もようやく書きはじめたばかり。献呈の許可を受け、出版譜の表紙に「宮廷第一楽長 サリエリ氏へ献呈」と明記すれば、音楽ファンから注目されるに違いない……!

かくして、サリエリへの献辞とともに世に送り出された作品。それが『3つのヴァイオリン・ソナタ』(作品12)でした。若い作曲家の野心と才能を、サリエリは好意的に受け取ったのでしょうか。その後、ベートーヴェンにイタリア歌曲の指導をおこなっています。ベートーヴェンの作曲家としてのステップアップの陰にサリエリがいたことは、もっと知られてもしかるべきでしょう。

(かげはら史帆/ライター)